

令和2年度 大阪府立茨木西高等学校 第1回 学校運営協議会（記録概要）

今年度は新型コロナウイルスの感染拡大による影響を勘案し、会議の開催を断念することになりました。代替措置として、「令和2年度 学校経営計画（案）」等を学校運営協議会委員の方々に送付し、それについてFAX、メールでいただいた意見をまとめ、学校運営協議会委員の確認・了承を得たものを、「令和2年度第1回学校運営協議会議事録」とさせていただきます。

協議会委員：

・委嘱委員（敬称略）

会長	山本 稔	大阪リゾート&スポーツ専門学校 校長
		大阪医療秘書福祉専門学校 校長
		大阪こども専門学校 校長
副会長	谷 郁夫	ITコンサルタントふるもん
	鷲塚 誠	茨木市立西陵中学校 校長
	山田 咲生子	代々木ゼミナール大阪南校
	田原 正也	地域代表
	川端 保枝	保護者代表

・校内委員

校長、教頭、事務長、首席2名

進路指導主事、1年学年主任、2年学年主任、3年学年主任

「令和2年度 学校経営計画（案）」について、各運営協議委員からのご意見・ご質問

- ・ 新型コロナウイルスの関係で学校は大変だと推察しますが大阪府全体の流れは報道等で確認できますが学校単位での動きが見えないところがあります。現時点での茨西での状況を知らせてください。特に授業確保・学校行事はすべての委員が知りたいと思っています。
 - 臨時休校当初は、茨西携帯メール&学年別メールマガジンで情報発信に努めておりました。また、校長室だよりブログもできるだけ毎日更新しておりました。Webアンケートに回答のない家庭に対して各担任が電話連絡を実施し、レターパックで自宅学習用の課題発送を早期に実施しました。
 - 授業数確保のため、夏休み・冬休みを10日間に短縮し、土曜授業を計5回実施する予定です。学校行事は精査が必要になってきますができるだけ実施する方向で検討しています。

- ・ 昨年度最後の協議会で学校教育自己診断が話題となりました。今年度の数値アップに向けて強化方針などがあればよいと思うのですが・・・
 - 年度当初は、回収方法等も含めいろいろと考えていましたが、現在は「新たな生活様式」の中での学習活動を模索しているところです。日常性が回復できた時点で、改めて方策を検討します。

- ・ 9月入学が話題となっていますが、校長先生の私見でも構いませんがどう思われていますか。
 - 個人的には弊害等もあるとは思いますが、平時において移行は不可能だと思いますので、9月入学に移行すべきと考えています。

- ・ 入学後学校が休みになりましたが、新1年生の学校定着に影響はなかったですか。
 - 大いにあると危惧しています。通常はクラス開きのために5月のGWの狭間に遠足を行い、新入生は「飯盒炊爨」で強制的にコミュニケーションを取るような仕掛けをしていましたが、実施できませんでした。また、入学当初から部活動紹介などのオリエンテーション、仮入部制度などにより学校定着を図っていたのですが、6月下旬の実施となってしまいました。新入生の担任団は、ここからのリカバリーについて計画しているところです。

- ・ 遅刻者および部活加入率について、粘り強い努力により随分改善されました。引き続き（さらに難しい）維持をお願いしたい。
 - 本校の根幹となる部分ですので、引き続いて取り組んでまいります。

- ・ アンケートの肯定回答の高い目標設定について、高大連携90%以上、フィールドワーク90%以上に期待したい。
 - 新型コロナウイルスの影響でともに実施が難しくなっています。しかし、時期をずらしたり、Zoom等を活用しての実施を検討しています。肯定回答率については、目標達成できるように取り組みます。

- ・ 勉強合宿に変わる打ち手について、自習室及び質問コーナーの活用者数の増加、外部模試参加者の増加に期待したい。
 - 自習室は、密にならない方法での実施を考えます。質問コーナーは換気等に配慮しながら積極的に活用していきます。外部模試はソーシャルディスタンスを取って実施しましたが、想定していたより多くの生徒が受検しました。

- ・ 学校教育自己評価（保護者）「授業のわかりやすさ」 目標65%以上について
 目標に至る打ち手が、従来どおりであることに不安を覚えます。何らかの工夫が必要ではありませんか？ 複数回参観させていただき、工夫され、十分にわかりやすい授業だと感じています。アンケートが「生徒を通じた保護者の印象」である事も考察する必要があるかもしれません。

 - 今回の事態を受けて平常時のオンライン（G Suite for Education）の活用も模索していきたいと考えています。アンケート分析においては、ご指摘の視座も考慮してまいります。

- ・ 前年度の計画を踏襲し、学校経営を進められることが分かりました。「ロッカー前遅刻」を減らす具体的な数値目標も示され、「自律する力」を育成したいという思いが伝わりました。

 - 数値目標が達成できるよう教職員一同で取り組んでまいります。自立から一歩進めて、自律できる生徒を育成することを大切にしたいと思えます。

- ・ 「3 本年度の取組内容及び自己評価」自律する力 評価指標（2）ア「同和問題に関する講演会」について
 私の知識不足で申し訳ございませんが、現状の高校教育において、同和問題はどのような扱いをされているのか、お教え願えればと思います。
 根深い問題であると理解はしておりますが、特に若い世代においては、あまり敏感な問題として認識されていないのでは、というのが個人的な実感です（長年の教育の成果が出ているとも言えるでしょうか）。一方、近年は性別・いじめ・ネットリテラシーなどの方が、関わりの深い問題となっているように思われます。
 誤解のないよう申しあげると、決して同和問題を取りあげるのが不適切という意味ではございません。ただ、SNS を通じての事件などがこれほど取沙汰される現状に鑑み、こちらについてはどのような取り組みをされているのかと気になった次第です。

 - 近年、本校では後半ご指摘いただいている事案に力点を置いて「人権教育」を実施してまいりました。その一方で、出身中学によっては「同和問題」を全く学習せずに進学してくる生徒が約半数おります。正しい知識がなければ誤った情報をうのみにする危険性がありますので、普遍的な人権侵害の事案として取り扱いたいと考えております。

- ・ 保護者参観・保護者面談の参加率はどのくらいのものでしょうか。
 保護者が授業の内容を理解できるわけではないかもしれませんが、授業風景を直接見ていただければ、先生方が教え方を工夫しておられる点についてご理解いただけるのでは、と思えました。

弊社では、年2回の保護者面談にはなるべく来ていただき、職員の口から直接生徒さんの状況について説明する機会を設けられるよう心掛けている部分があります（授業参観まではさすがにありませんが、体験授業を受けたいとおっしゃる保護者の方も稀にいらっしゃいます）。

- 土曜日の公開授業（授業参観）には、新入生の保護者を中心に数十名の方が参加されます。平日の公開授業（授業参観）には、残念ながら数名程度の参加です。
- 保護者面談は、年1回は必ず来校いただくようお願いしています。また、成績不振者や担任が気になる生徒の保護者には、お仕事に都合をつけていただき。各懇談の際にご来校いただくようお願いしています。

・ オンライン授業の取り組み・成果・問題点について、お教え願えれば幸いです。

- 5月までの「臨時休校」中は、教職員の手作りの動画や NHK School ONLINE、You Tube の動画などを活用しました。緊急避難的な取り組みでしたので、生徒からのオンラインによる質問等は受け付けましたが、残念ながら双方向のやり取りまではサポートできませんでした。そこで、第2波に備えて G Suite for Education の活用を準備中です。

・ 新一年生も高校生活を楽しみにしている事だと思えます。一日も早いコロナの終息を願うばかりです。

- ありがとうございます。我々教職員一同もそれを願っております。